

セミナーのお知らせ

岡林 潤 博士

東京大学大学院理学系研究科准教授



放射光磁気分光の魅力

～いかにして個別のスピンを計測するか～

Attracting X-ray magnetic spectroscopy:
How can we measure the element-specific spins ?

日時：2017年1月12日（木） 14:20-15:50

場所：理工学部2号館 12番教室

Abstract:

スピントロニクス素子は、電荷を用いたエレクトロニクスを凌駕する低消費電力デバイスの創出に用いられつつある。この研究分野では、界面を原子レベルで精密に制御した磁性薄膜が用いられる。そのため、界面の磁性スピンを元素別に計測する必要があり、放射光磁気分光が重要な役割を果たす。磁気分光がどのように役に立ち、今後何が必要かについても議論する。

問い合わせ先：宮永崇史 (takaf@hirosaki-u.ac.jp)